

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 36 週(9 月 5 日～ 9 月 11 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.50	(3.71)	➡	⬇	➡	⬇
2	流行性耳下腺炎	1.68	(1.59)	➡	➡	↗	⬇
3	A群溶連菌咽頭炎	1.03	(1.12)	➡	➡	➡	⬇
4	RS ウイルス感染症	0.62	(0.71)	↗	↑↑	➡	⬇
5	伝染性紅斑	0.59	(0.26)	↗	↗	↑↑	⬇

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**⬇やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

流行性耳下腺炎(おたふく風邪)、伝染性紅斑(リンゴほっぺ病)が引き続き例年より高いレベルとなっています。流行性耳下腺炎は中和保健所東部(旧桜井保健所)管内、伝染性紅斑は奈良市保健所管内からの報告数が多くなっています。ともに不顕性感染(感染しているが臨床症状を示さないこと)した人からの感染があるため予防は難しいですが、手洗い・うがいを励行しましょう。

また、今週はインフルエンザの報告が中和保健所西部(旧葛城保健所)から1件ありました。例年、インフルエンザの本格的な流行は新年になってからですが、過去には9月に集団感染事例が発生したこともあります。

寒くなってくると様々な感染症が流行します。基本的な感染予防対策(手洗い・うがい・咳エチケット)を心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

9月になり夏風邪はほとんど無くなりました。アデノウイルス感染症が一部の保育園の幼児で流行しています。伝染性紅斑と流行性耳下腺炎が相変わらず流行しています。季節の変化と台風の接近で喘息が出ています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

夏風邪は減少傾向であるが、ヘルパンギーナ、手足口病が少し見られる。
 前週は咽頭結膜熱の流行があった。流行性耳下腺炎はまだ流行中。水痘が少し。
 感染性胃腸炎はそれほど多くない。
 麻疹は見られないがワクチン接種希望の成人があり不足に備え抗体価検査または断っている状況。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ムンプスの流行はやや落ち着いてきた。
 典型的な夏カゼは減少。咳の遷延例や胃腸炎が増加。RSウイルス感染で同胞3名の入院があった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 36 週 9 月 5 日 ~ 11 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ	1 (0.02)				1 (0.10)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	21 (0.62)	5 (0.56)		5 (0.71)	11 (1.83)			
咽頭結膜熱	15 (0.44)	8 (0.89)	2 (0.22)	3 (0.43)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	35 (1.03)	8 (0.89)	5 (0.56)		22 (3.67)			
感染性胃腸炎	85 (2.50)	17 (1.89)	13 (1.44)	30 (4.29)	25 (4.17)			
水痘	2 (0.06)			1 (0.14)	1 (0.17)			
手足口病	9 (0.26)	1 (0.11)		3 (0.43)	4 (0.67)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	20 (0.59)	14 (1.56)	2 (0.22)	3 (0.43)	1 (0.17)			
突発性発しん	16 (0.47)	2 (0.22)	1 (0.11)	7 (1.00)	6 (1.00)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	13 (0.38)	1 (0.11)	3 (0.33)	2 (0.29)	7 (1.17)			
流行性耳下腺炎	57 (1.68)	17 (1.89)	5 (0.56)	21 (3.00)	9 (1.50)		5 (2.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	23 (2.30)	3 (1.00)	5 (1.67)	14 (7.00)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
マイコプラズマ肺炎	7 (1.17)		5 (2.50)		2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市1、郡山4、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(郡山1、中和1)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(郡山1)

※第35週分として麻しん1件(郡山1)追加がありました。

❖ 第36週のトピックス ❖

◆ジカウイルス感染症患者(輸入症例)の発生について
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000136395.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男																				1	7743
	女																					1
RSウイルス感染症	男	1	3	8	2																14	215
	女	1	2	2	2																7	177
咽頭結膜熱	男	1	1	1	1	2			1												6	290
	女	1	2	3	2	1	2														9	270
A群溶連菌咽頭炎	男			3	1	5	3	3	2				1	1							19	1166
	女	1		1	1	1	1	4	2	1			2		2						16	957
感染性胃腸炎	男		3	9	6	5	3	2	4	2		2	1	1	3						41	3119
	女	2	1	7	5	2	5	2	1	4	2	1	4	1	7						44	2776
水痘	男				1																1	195
	女										1										1	143
手足口病	男		1	3	1	1															6	66
	女		1	1									1								3	59
伝染性紅斑	男			2	2	2	2	1	2				1								9	372
	女			2	2	2	2	1	1				1								11	409
突発性発しん	男		3	4	1																8	337
	女		3	5																	8	317
百日咳	男																					5
	女																					4
ヘルパンギーナ	男			3	1	1															5	535
	女		1	2	2	2							1								8	474
流行性耳下腺炎	男			1	2	4	7	3	7	2	3	1	1								31	918
	女		1	4	4	2	5	4	1	1	1	2			1						26	779
急性出血性結膜炎	男																					1
	女																					2
流行性角結膜炎	男						1	1					1								6	68
	女							1		1					4	3	2	2		1	17	90
細菌性髄膜炎	男																					7
	女																					3
無菌性髄膜炎	男											1									1	5
	女																					2
マイコプラズマ肺炎	男		2	1				1													4	91
	女			2	1																3	81
クラミジア肺炎	男																					1
	女																					54
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																					1
	女																					45

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

